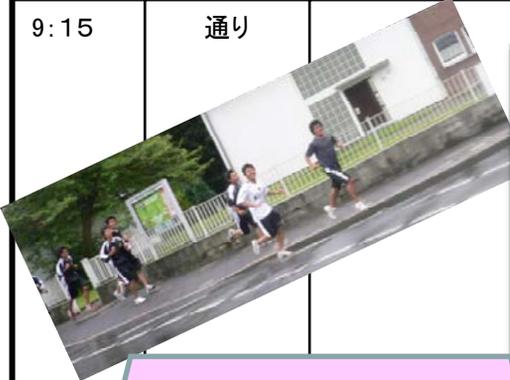


8月10日(月)第6日目

くもり時々雨そして晴れ

時間	場所	内容
7:30	ホテル	<p>今朝は、今遠征と一緒に食べる最初の散歩、そして朝食だ。…っというのにホームステイから解放された気の緩みか、朝寝坊で遅刻をしてきた選手が……。</p> <p>この二人どうする？</p> 
8:00	ホテル	<p>朝食です。みんなで食べるから楽しい！！</p>   
9:00	ホテル 出発	<p>午前中はランニングです。ホテルからデュッセルドルフのベンラート城まで往復約15km とその前に洗濯物を集めた…すごい剣幕だ。 選手たちが走っている間に、ユニフォーム他の洗濯を片付けないと……。それにしてもすごい山……。 車に乗るかな……。</p> <p>選手たちはスタート！目指せベンラート城</p> <p>小雨の降る中、ホテルを出て、あとはベンラート城まで一直線。がんばれー!!</p>   

時間	場所	内容
9:15	通り	  <p data-bbox="158 499 596 602">ベンラート城</p>
9:40	ベンラート城	<p data-bbox="129 783 549 1025">ライン河の近くなるベンラート城。ホテルからそこまでのランニングは恒例になった。今回はちょっと雨が降っていて、ちょっと肌寒い……。でも選手たちは思いっきり前向きに頑張っていた。</p>    <p data-bbox="672 1295 1368 1384">この先がライン河</p>  <p data-bbox="115 1411 596 1653">ベンラート城からホテルへの帰り道も、もちろんランニング、ちょっと雨が強くなってきたけど……。私が車で追いかけてながら、"1. 2. 3." とかけ声……。それにみんなしっかり答えてくれてるよ。小野ちゃん、内田君……。ナイスプレー。</p>  

時間	場所	内容
11:45	レストラン Mongorei	  <p>今日のお昼は、中華系のお店。ご覧のとおりお寿司もあり、焼きそばもあり…… 味もなかなかいいですよ。 さあ、ここで腹ごしらえして、午後からはサッカーの試合をOberhausenまで行く。実はチケットがない……。選手たちはこの食事中ないことを知らされた。それでも行くかー？と問うと、行くさー!!と返ってきた。チケット手に入るか心配だけど、とにかく行きますか！ ということでホテルを出発です。Hilden駅まで歩く。</p>
14:00	ホテル 出発	
14:20	Hilden 中央駅 出発	  <p>この遠征中、写真を撮るときに決まって私から“1. 2. 3.”と声をかけた。するとみんなの声は、世界のなべあつだ！</p> <p>電車で</p>
		<p>デュッセルドルフ中央駅へ</p> <p>どこのホームにいてもこのジャージ姿、黒だけど……すぐわかる……。どこにいても目立つのジャージ……。</p>  <p>ドイツの超特急電車ICEをバックに。デュッセルドルフ中央駅のホームで。</p>
	<p>オーバーハウゼン中央駅まで電車で</p> 	<p>今度は駅からスタジアムの近くまでバスで移動。電車の中から、レバークーゼンのサポーターでいっぱい。</p> <p>バスで</p> 

時間	場所	内容
----	----	----

16:30
オーバーハウゼンのスタジアム近くのバス停到着



バスでスタジアムの近くまで行き、大勢のサポーターの流れに沿って私たちも続いた。チケットがなかったらまたこの道を寂しく……そうならないように、気持ちをこめていざ！チケット売り場へ Gooooooooo.



チケット売り場結構、当日券めざして並んでるね。

俺の分、あるかな!?



皆川はここ!



ジャーン

チケット売り場には感じのいいおばちゃんがあった。"28枚ください" "はい、交換券は、" "えっありません" "じゃあだめです" "えっ……"

みて！チケットが輝いてる！

これであきらめるわけにはいかない……ここから驚異の粘りが……"昨日、このために日本から来たんだ。これを見なければ帰れない……どうかチケットを……試合を見させてください" "……(となりの売り子さんとなにやら相談……大人のチケットならあるけどこれで見てもらおうか……みたいな話してる)……" "(あとひと押しと思った俺は、すかさず) お願いします!" "OK、28枚どうぞ" "(やったー) ダンクシェーン" 約12分間の壮絶なやり取りの結果チケットをゲット!



えっ！まじっすか？

おっと、いいフォームだ、9.95点



中国、早く取らないとなくなるよ！

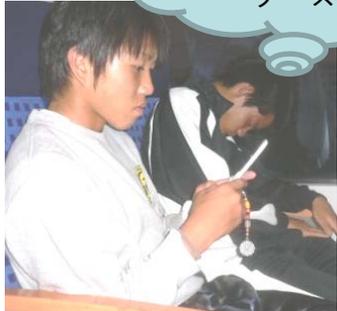
……といつまでも手を出さなかった中国君でした

どこに入るにもセキュリティは厳しい！渡恭、どこかへ飛んでいくようだ！

どうにか中には入れました。ここがOberhausenの地元のスタジアム【Stadion Niederrhein】という。私たちの席は、立見席、そしてアウエーチームのレバークーゼン側だ。キックオフまで時間があるのでまだサポーターの入りもまばらだ。反対側がホームチームだ。キックオフ時には、向こうも満席になった！！



時間	場所	内容
17:00	ニーダーラインスタジアム	<p>試合前のアトラクション……モーターバイクでのパフォーマンスがあった。ちょどわれわれの前でやってくれたので、バイクの音と空中でのアクロバットなアクションに目を奪われ、感激した。</p> 
17:15		 
17:30K0	ニーダーラインスタジアム	<p>電光掲示板による選手の紹介、特にホームチームの紹介時は、スタジアム全体が響く！</p> <p>そして試合開始前のセレモニーが始まった。予想では断然レバークーゼンのほうが力は上なのだが…結果はどうなるでしょう？</p>   
19:40		<p>2点を先行されたSCロートバイス・オーバーハウゼンであったが、サポーターの強力な後押しがあり、1点をいれ、そして同点弾をゲットし、選手もサポーターも大喜び…歓喜だ！</p> <p>試合終了後、駅までバスで移動、多くのレバークーゼンサポーターに混じって歩いた</p>   <p>同点に追いつかれ、歓喜に揺れるスタジアムをじっと見つめるレバークーゼンのサポーター……とfの選手たち。結局終了間際に1点をいれ、3-2で面目を保った。</p>

時間	場所	内容
20:00	オーバーハウゼン 中央駅	試合も無事観戦でき、内容も非常に面白く充実した時間であった。 私も達成感でいっぱい。ホテルに戻ったら、ひとりで乾杯……しようっと！
21:30	デュッセルドルフ 中央駅	  <p>夜になってもテンションはウナギ上り？ 1・2・3 カシャ いい顔が撮れた でも洋平だけは、いつもおすまし顔……。</p>
22:30	ホテル着	 <p>夜食のカップヌードル…… うまそう……！</p> <p>そうそうカップヌードルと言えばお湯が必要……。お湯が必要と言えば、フロントに行かなきゃならない……。っとなるとフロントのねーちゃんが忙しくなる……。っとなると俺に何とかしてと言ってくる……。おれも食べたい…君も食べる？とフロントのねーちゃんに言い返す(笑)</p>  <p>今日の出来事を日記につづる後藤。 今日楽しかった？ と尋ねると笑顔が返ってきた。</p>
24:00		ようやく就寝です。

皆川さん、ただビール飲みたいだけなんじゃないですか？ ググググ……スー

皆川ツーリストおじさんの……乾杯

ほっとした。今こうし部屋でゆっくりビールが飲めることに乾杯……。チケット確保、粘ってよかった。でも、あの窓口のおばちゃん…いい人だったな。普通はつんとして早く帰って……と言われるのに、今回は、あのおばちゃんに助けられた。今回の遠征で唯一ブンデスのプロチームの試合が見られるプログラム…なんとしても見させてやりたかった。ぜひ雰囲気味わわせてやりたかった……そんな思いがおばちゃんに通じてよかった。おばちゃんに、乾杯!!



今日の日記と感想 8月10日(日)

【浅倉 潤一】 1993/09/20生まれ

朝7:00に起きた。ホテルの部屋は、とても居心地が良く、とても良く寝れた。7:30に集合し朝食を食べた。メニューは昨日と変わっていなかったが、おいしく楽しく食べることができた。朝食後はベンラート城まで走って行った。ベンラート城では写真を撮ったり、ライン河を見たりした。ライン河で泳いだ人(真壁)もいた。ベンラート城からライン河へと続く森みたいなところは、『不思議な国のアリス』に出てきそうな、広い森だった。そこからまたホテルまで走って帰り、シャワーを浴び、昼食の店へ行った。日離職はバイキングで中華料理がたくさん並んでいた。久しぶりに米を食べることもできたし、とても美味しかった。ホテルに戻り、森恭と買い物に行った後、電車とバスを利用し、レバークーゼン対オーバーハウゼンの試合を見に行った。電車の中へ自転車のまま入る人がいてびっくりした。(別料金で自転車もOK・by shin)

試合は3対2でレバークーゼンが勝った。点が入る度にいろいろな人たちとハイタッチをしたり、話すことができ、とても面白かった。初めての外国でのサッカー観戦、サッカーの本場といわれる程のドイツは、どんなサッカーをするのか？また、観ている人はどんな感じなのか？とすごく楽しみだった。会場に入る前から、バスの中でレバークーゼンの応援がデカイ声で始まった。日本では考えられないことだ。世界は広いなと思ったし、さらに楽しみがわいた。球技場に入ると敵同士のブーイングがとても凄かった。レバークーゼンの先制点は凄かった。遠めから無回転のシュートがゴールに突き刺さった。その瞬間グランドが沸いた。とてもすごい迫力だった。改めてドイツサッカーのパワーを感じさせられるシュートだった。試合を見ていて思ったことは、余り1対1の場面が無かったこと。みんな1対1をしないでボールをつなぎシュートまで行っていた。ガツガツする試合を想像していたが、ドイツサッカーは、とてもシンプルで、魅かれるのものがあつた。試合を見て本当によかった。あの得点シーンと周りの人たちの様子は、絶対に忘れることのできないものだと思う。



【真壁 周大】1993/06/03生まれ

今日は、6:50に起床! 朝起きるのがつらかったが頑張って起きた。散歩してドイツの空気や雰囲気を感じると、とても気持ち良くて眠気がすぐ取れた。ホテルに戻るとすぐ朝食だった。朝食はいつもお米って自分の中で決めているけど、このホテルにはご飯がなくて残念だった。朝食後は、ベンラート城まで走った。ベンラート城を見た時は、日本にはない風景で目に焼き付けた。ライン河に行って泳いでみると、あまり水は冷たくなかったけど、出て走って帰ると、すごく寒くなってきて失敗したなと思った。昼食は、中華料理のバイキングで日本の料理もいくつか並んでいた。久しぶりの日本食だった。とても美味しかったけど、やはり日本の家の食事が一番で、早く食べたいと思った。次に電車とバスに乗って、レバークーゼンとアマチュアのチームの試合を見にスタジアムに向かった。スタジアムに向かう前から、レバークーゼンの熱狂的な応援があり、これが本場ドイツのサッカーだと肌で感じた。試合は3対2でレバークーゼンが勝った。最初は生で世界のトップレベルのプレーが見られるし、学ぶことができることがうれしかった。ホイッスルが鳴り試合が始まると、ドイツの選手は、普通にプレーしていると思うけど、一つ一つのコントロールやパスが、考えてプレーしているなと感じた。1点目のレバークーゼンの8番のシュートは凄く印象に残っている。ミドルシュートはドイツが得意としているプレーで見れてすごく良かった。レバークーゼンの力と、オーバーハウゼンのプロに勝るといふ気持ちを感じられて気持ちの面で学ぶことが多かった。今後のサッカーでこの試合をきっかけに何か変われば良いなと思った。

[自分が覚えたドイツ語]

Es schmeckt gut.(おいしい) Guten Abend.(こんばんわ) Echt!(本当!?)

schoen!!(美しい、すばらしい) Guten Tag.(こんにちわ) Entschuldigung(ごめんなさい)

Guten Morgen(おはよう) freundlich(優しい、親切的な) 以上。